

呼吸器内科プログラム

1. コンセプト

呼吸器内科医として基本的手技の修得と診断から治療への過程を経験する。

2. 短期目標

- 1) 呼吸器疾患の主要症候と身体所見の理解
- 2) 呼吸器疾患の基礎的検査、手技の修得
- 3) 呼吸器疾患の診断・治療の実践

3. 研修する疾患

肺腫瘍性疾患（肺癌など）、胸膜疾患（悪性中皮種など）、縦隔疾患、感染症および炎症性疾患（肺結核を含む）、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、細気管支炎（びまん性汎細気管支炎など）、アレルギー性肺疾患、特発性間質性肺炎、サルコイドーシス、稀少性肺疾患（肺胞蛋白症、肺リンパ脈管筋腫症など）、じん肺症、肺循環障害、薬剤・化学物質・放射線による肺障害、全身疾患に伴う肺障害（膠原病肺など）、呼吸中枢の疾患（睡眠時無呼吸症候群を含む）、慢性呼吸不全、急性呼吸不全（急性呼吸促迫症候群）